# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日


上場会社名　株式会社ダスキン　　上場取引所　東
コード番号　4665　URL　http://www.duskin.co.jp/corp/index.html
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山村　輝治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 鶴見　明久　TEL 06-6821-5071

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日　配当支払開始予定日　平成25年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 83,310 | 1.5 | 4,351 | △8.4 | 5,327 | △7.3 | 3,059 | 3.1 |
| 25年3月期第2四半期 | 82,088 | △3.9 | 4,751 | 12.1 | 5,746 | 7.8 | 2,967 | 3.5 |

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　4,013百万円　(51.5%)　25年3月期第2四半期　2,649百万円　(△8.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 48.72 | ― |
| 25年3月期第2四半期 | 46.17 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 201,860 | 154,640 | 76.1 |
| 25年3月期 | 202,375 | 152,811 | 75.1 |

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　153,680百万円　25年3月期　151,891百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | ― | 20.00 | ― | 20.00 | 40.00 |
| 26年3月期 | ― | 40.00 | | | |
| 26年3月期(予想) | | | ― | 20.00 | 60.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成26年3月期第2四半期末配当金の内訳　普通配当　20円00銭　記念配当　20円00銭

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 173,000 | 2.9 | 6,300 | △31.5 | 7,800 | △29.3 | 4,400 | △27.8 | 70.31 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料P.4「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご確認ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年3月期2Q | 64,994,823 株 | 25年3月期 | 64,994,823 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 2,414,752 株 | 25年3月期 | 1,913,819 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年3月期2Q | 62,794,774 株 | 25年3月期2Q | 64,285,365 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成25年6月24日付で500,000株の自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式取得後の発行済株式数（自己株式を除く）により算定しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）の我が国経済は、円安や政府による経済政策の効果等により企業収益に改善が見られる等、全体としては回復基調で推移しました。その一方で、原材料価格の高騰や海外景気の減速等の下振れリスクも抱え、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、創業50周年を迎えた当社は、期初より、これまでの感謝を込めた謝恩活動をフランチャイズ加盟店と一丸となって展開すると共に、“仕組みの改革”を推し進めており、一人でも多くの方に、当社の商品・サービスをご利用いただくべく、中期経営方針の基本方針に沿った取り組みを継続しました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の連結売上高は、833億10百万円（前年同期比1.5％増）となりました。一方、フードグループが大幅な減益となり営業損失を計上したことで連結営業利益は減少し、43億51百万円（前年同期比8.4％減）となりました。それに伴い、連結経常利益も53億27百万円（前年同期比7.3％減）と減益となりましたが、連結四半期純利益は、前年同期にあった投資有価証券評価損の計上が無くなったことを主因として増益となり、30億59百万円（前年同期比3.1％増）となりました。

＜セグメント毎の状況＞

①クリーンケアグループ

清掃関連用具のレンタルや清掃美化関連のサービスを手掛けるクリーン・ケア事業は、家庭市場において、全国各地のショッピングセンター等で、「オタメシ祭り」を多数開催しました。これは、普段ご自宅でなかなかお会いできない方に対して、お出掛けの場で当社商品を紹介し、実際に触って使って見ていただいて、ホコリの取れ方や使い勝手等を体感していただくという催しで、従来商品より高機能でスタイリッシュなフロアモップ「ＬａＬａ」、ハンディモップ「ｓｈｕｓｈｕ」、集めたゴミやホコリを吸い取る置き型式掃除機「ダストクリーナー」の３点を組み合わせた“お手軽本格おそうじ”を訴求しました。それら３点のレンタル売上は順調に増加したものの、それ以外のモップ商品売上は減少し、家庭用ダストコントロール商品全体では、前年同期並みの売上に留まりました。エアコンクリーニング、台所や洗面所等の水周りクリーニング、家事おてつだいサービス等が順調に推移した家庭向け役務提供サービスと併せた家庭市場合計の売上は、前年同期を上回る結果となりました。

一方、事業所市場は引き続き厳しい状況が続きました。清掃用具レンタルに清掃サービスや害虫駆除、衛生管理サービス等を加えたオーダーメイドの総合提案を繰り返し行う地道な営業活動に引き続き注力しましたが、ダストコントロール商品の売上が減少したことを主因に、前年同期の売上を下回る結果となりました。その中では、害虫駆除サービス等が順調に推移した事業所市場向け役務提供サービスは、前年同期の売上を上回りました。

以上に、介護用品レンタル、イベント受注が依然として好調に推移したレントオール事業及びその他の事業を加えたクリーンケアグループ全体の売上高は550億23百万円（前年同期比1.5％増）となりました。営業利益は、創業50周年謝恩活動により販売促進費用は増加したものの、一部の費用の使用時期が下半期にずれ込んだこと等により、75億12百万円（前年同期比2.7％増）となりました。

②フードグループ

ミスタードーナツ事業は、ブランド価値の向上を図ることに集中して取り組み、前年同期の売上を上回りました。とりわけ、味・おいしさの追求に注力し、まず４月には、今まで以上に風味を高めるオイル、ドーナツをコーティングするグレーズ（砂糖蜜）を開発・導入し、併せて「オールドファッション」等の人気ドーナツの生地をリニューアルした「ＴＲＹ！　ＮＥＷ　ＭＩＳＤＯ！」と題したプロモーションを実施しました。９月には、豆の品質・焙煎方法にこだわり、よりおいしくなった「ミスドオリジナルローストコーヒー」を発売しました。更に、商品展開においては、６月の「ぷるるんポン・デ・リング」、８月の「マロンドーナツ」等、季節感溢れる商品を継続的に展開しながら、カルピス株式会社との「カルピス®ドーナツ」、ハウス食品株式会社との「家族のカレーパン」等、有名企業とのコラボレーションで話題性を喚起する取り組みも行いました。また９月には、ドーナツの新たな食べ方を提案する商品として、６種の一口サイズドーナツを専用容器に詰め大人数で楽しんでいただく「ミスドビッツ」を発売し、大変好評を得ております。

以上に、前期７月より連結を開始した蜂屋乳業株式会社及びその他のフード事業を加えたフードグループ全体の売上高は229億99百万円（前年同期比1.0％増）となりました。一方、営業利益は、小麦等原材料価格高騰の影響に加え、「ＴＲＹ！　ＮＥＷ　ＭＩＳＤＯ！」による宣伝広告費の増加等により、１億44百万円の営業損失（前年同期は営業利益４億78百万円）となりました。

③その他

海外のミスタードーナツ事業は、タイ、フィリピン、マレーシアは好調に推移したものの、台湾、中国（上海）、韓国は、不採算店をクローズし店舗数が減少したこと等により前年同期の売上を下回った結果、海外のミスタードーナツ事業合計の売上は前年同期から微減しました。

海外のクリーン・ケア事業は、展開している台湾、中国（上海）、韓国の３ヵ国全てで前年同期の売上を上回りました。台湾では、ダストコントロール事業との相乗効果により、役務提供サービスが順調に推移し、また中国（上海）、韓国では、家庭市場のお客様開拓に注力した結果、売上は前年同期を上回りました。

以上に、リース事業等を営むダスキン共益株式会社等の関係会社を加えた、その他全体の売上高は52億86百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は２億９百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末における総資産残高は、2,018億60百万円となりました。前連結会計年度末（以下「前期末」という）と比較して５億14百万円減少しております。その要因は、投資有価証券が47億64百万円、現金及び預金が20億68百万円増加したことに対し、短期資金運用等の有価証券が61億99百万円、無形固定資産その他が６億55百万円減少したこと等であります。

負債残高は472億19百万円となり、前期末と比較して23億43百万円減少しております。その要因は、未払金が11億37百万円減少したこと等であります。

純資産残高は1,546億40百万円となり、前期末と比較して18億29百万円増加しております。その要因は、四半期純利益30億59百万円と剰余金の配当12億61百万円との差引により利益剰余金が17億97百万円、その他有価証券評価差額金が８億37百万円増加したことに対し、自己株式の取得により９億６百万円減少したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）通期の業績予想につきましては、平成25年５月15日に公表した従来の予想を変更しておりません。

【連結】

（単位：百万円、%）

| | 平成26年３月期（予想） | | | 平成25年３月期（実績） | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 百分比 | 前期比 | | 百分比 |
| 売上高 | 173,000 | 100.0 | 2.9 | 168,163 | 100.0 |
| 営業利益 | 6,300 | 3.6 | △31.5 | 9,197 | 5.5 |
| 経常利益 | 7,800 | 4.5 | △29.3 | 11,027 | 6.6 |
| 当期純利益 | 4,400 | 2.5 | △27.8 | 6,092 | 3.6 |

【単体】

（単位：百万円、%）

| | 平成26年３月期（予想） | | | 平成25年３月期（実績） | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 百分比 | 前期比 | | 百分比 |
| 売上高 | 148,000 | 100.0 | 1.9 | 145,275 | 100.0 |
| 営業利益 | 3,400 | 2.3 | △46.9 | 6,399 | 4.4 |
| 経常利益 | 6,400 | 4.3 | △32.3 | 9,446 | 6.5 |
| 当期純利益 | 3,900 | 2.6 | △21.9 | 4,995 | 3.4 |

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 19,255 | 21,323 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,366 | 10,105 |
| リース投資資産 | 1,782 | 1,649 |
| 有価証券 | 13,998 | 7,799 |
| 商品及び製品 | 6,203 | 7,322 |
| 仕掛品 | 175 | 154 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,133 | 2,124 |
| 繰延税金資産 | 2,609 | 2,513 |
| その他 | 2,684 | 2,798 |
| 貸倒引当金 | △46 | △49 |
| 流動資産合計 | 59,162 | 55,743 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 42,138 | 41,300 |
| 減価償却累計額 | △24,262 | △23,804 |
| 建物及び構築物（純額） | 17,876 | 17,495 |
| 機械装置及び運搬具 | 23,624 | 23,519 |
| 減価償却累計額 | △17,247 | △17,262 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 6,376 | 6,256 |
| 土地 | 24,231 | 24,198 |
| 建設仮勘定 | 279 | 981 |
| その他 | 13,683 | 13,099 |
| 減価償却累計額 | △9,328 | △9,319 |
| その他（純額） | 4,355 | 3,780 |
| 有形固定資産合計 | 53,120 | 52,712 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 688 | 666 |
| その他 | 7,788 | 7,133 |
| 無形固定資産合計 | 8,477 | 7,799 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 67,684 | 72,448 |
| 長期貸付金 | 108 | 27 |
| 繰延税金資産 | 5,147 | 4,737 |
| 差入保証金 | 7,498 | 7,369 |
| その他 | 1,385 | 1,232 |
| 貸倒引当金 | △209 | △210 |
| 投資その他の資産合計 | 81,614 | 85,604 |
| 固定資産合計 | 143,212 | 146,117 |
| 資産合計 | 202,375 | 201,860 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,975 | 6,588 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 99 | 99 |
| 未払法人税等 | 2,066 | 1,911 |
| 賞与引当金 | 3,362 | 3,065 |
| ポイント引当金 | 1,292 | 1,212 |
| 資産除去債務 | 2 | 9 |
| 未払金 | 6,229 | 5,091 |
| レンタル品預り保証金 | 10,326 | 10,275 |
| その他 | 4,443 | 3,779 |
| 流動負債合計 | 34,798 | 32,034 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 89 | 38 |
| 退職給付引当金 | 13,284 | 13,782 |
| 債務保証損失引当金 | 11 | 3 |
| 資産除去債務 | 592 | 582 |
| 長期預り保証金 | 748 | 741 |
| 長期未払金 | 37 | 37 |
| その他 | 0 | 0 |
| 固定負債合計 | 14,764 | 15,185 |
| 負債合計 | 49,563 | 47,219 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,352 | 11,352 |
| 資本剰余金 | 10,841 | 10,841 |
| 利益剰余金 | 132,222 | 134,019 |
| 自己株式 | △3,092 | △3,999 |
| 株主資本合計 | 151,323 | 152,214 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 943 | 1,780 |
| 繰延ヘッジ損益 | △3 | － |
| 為替換算調整勘定 | △371 | △314 |
| その他の包括利益累計額合計 | 568 | 1,466 |
| 少数株主持分 | 919 | 959 |
| 純資産合計 | 152,811 | 154,640 |
| 負債純資産合計 | 202,375 | 201,860 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成25年４月１日<br>至　平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 82,088 | 83,310 |
| 売上原価 | 45,926 | 46,874 |
| 売上総利益 | 36,162 | 36,436 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,411 | 32,084 |
| 営業利益 | 4,751 | 4,351 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 470 | 487 |
| 受取配当金 | 142 | 136 |
| 設備賃貸料 | 58 | 58 |
| 受取手数料 | 146 | 128 |
| 営業権譲渡益 | 131 | 11 |
| 雑収入 | 253 | 312 |
| 営業外収益合計 | 1,202 | 1,136 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 1 |
| 為替差損 | 34 | － |
| 持分法による投資損失 | 31 | 63 |
| 支払補償費 | 46 | 47 |
| 賃貸借契約解約損 | 24 | 0 |
| 雑損失 | 66 | 46 |
| 営業外費用合計 | 206 | 160 |
| 経常利益 | 5,746 | 5,327 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 1 |
| 投資有価証券売却及び償還益 | 939 | － |
| その他 | 8 | 2 |
| 特別利益合計 | 948 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 3 | 2 |
| 固定資産廃棄損 | 67 | 28 |
| 減損損失 | 67 | 64 |
| 投資有価証券評価損 | 1,030 | － |
| その他 | 9 | 3 |
| 特別損失合計 | 1,178 | 97 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,517 | 5,233 |
| 法人税等 | 2,515 | 2,139 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,002 | 3,093 |
| 少数株主利益 | 34 | 34 |
| 四半期純利益 | 2,967 | 3,059 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成25年４月１日<br>至　平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,002 | 3,093 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △375 | 834 |
| 繰延ヘッジ損益 | △9 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 19 | 53 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 12 | 32 |
| その他の包括利益合計 | △352 | 919 |
| 四半期包括利益 | 2,649 | 4,013 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,607 | 3,957 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 42 | 56 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | クリーンケアグループ | フードグループ | その他（注１） | 計 | 調整額（注２） | 四半期連結損益計算書計上額（注３） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 54,194 | 22,769 | 5,124 | 82,088 | ― | 82,088 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 482 | 7 | 1,213 | 1,702 | △1,702 | ― |
| 計 | 54,677 | 22,776 | 6,337 | 83,791 | △1,702 | 82,088 |
| セグメント利益 | 7,317 | 478 | 216 | 8,012 | △3,261 | 4,751 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、病院のマネジメントサービス、事務用機器及び車両のリース、保険代理業及び海外事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△3,261百万円には、セグメント間取引消去△８百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△3,253百万円が含まれております。

３．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「フードグループ」セグメントにおいて、平成24年５月に蜂屋乳業株式会社を子会社化したことに伴い、当第２四半期連結累計期間では404百万円ののれんが発生しております。

なお、のれんの当第２四半期連結累計期間の償却額及び当第２四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

| | クリーンケアグループ | フードグループ | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当第２四半期連結累計期間償却額 | 54 | 20 | ― | ― | 75 |
| 当第２四半期連結会計期間末残高（注） | 176 | 384 | ― | ― | 560 |

（注）当第２四半期連結会計期間末残高の主な内容は、平成24年５月に取得した蜂屋乳業株式会社ののれん残高384百万円（フードグループ）、平成20年７月に取得した株式会社アミ・コーポレーション（現在は株式会社ダスキンサーヴ東北と統合）ののれん残高46百万円（クリーンケアグループ）と当社及び連結子会社が複数の加盟店から事業譲受した際に発生したのれん残高101百万円（クリーンケアグループ）等であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | クリーンケアグループ | フードグループ | その他（注１） | 計 | 調整額（注２） | 四半期連結損益計算書計上額（注３） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 55,023 | 22,999 | 5,286 | 83,310 | ― | 83,310 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 480 | 4 | 1,355 | 1,840 | △1,840 | ― |
| 計 | 55,503 | 23,004 | 6,642 | 85,150 | △1,840 | 83,310 |
| セグメント利益又は損失（△） | 7,512 | △144 | 209 | 7,578 | △3,227 | 4,351 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務用機器及び車両のリース、保険代理業、病院のマネジメントサービス及び海外事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△3,227百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△3,227百万円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

当第２四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

なお、のれんの当第２四半期連結累計期間の償却額及び当第２四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

| | クリーンケアグループ | フードグループ | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当第２四半期連結累計期間償却額 | 74 | 41 | ― | ― | 115 |
| 当第２四半期連結会計期間末残高（注） | 354 | 311 | ― | ― | 666 |

（注）当第２四半期連結会計期間末残高の主な内容は、当社及び連結子会社が複数の加盟店から事業譲受した際に発生したのれん残高340百万円（クリーンケアグループ）と平成24年５月に取得した蜂屋乳業株式会社ののれん残高303百万円（フードグループ）等であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。